

「小学生への読み聞かせ～がんばれ！児童図書館員＆ボランティア」

1 はじめに

- 「読み聞かせ」は一般的にどう認知されているか？
- 「子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究 報告書」から
- 読書の楽しさを享受した大人から次の世代への贈り物

2 子どもの読書

- 「子どもの読み方はちがう」 エーリヒ・ケストナー
「文字の魔法によって呼び出された世界は、子どもたちにとって、手でつかめる事物の世界と、形は異なっているが同等に、ほんとうである」
- 10歳から読書の黄金時代が始まる
- 心に刻まれる読書体験

井上ひさしとヨーンスタイン・ゴルデルの言葉

- ・人は物語を必要としていること。しかも上質の物語を必要としていること
- ・現代は本、すなわち物語がますます重要な時代であること
- ・とりわけ子どもに上質の物語が必要であること

3 子どもに本を手渡す

- 何でも良いからたくさんという読書にさよならを
- この本は良いと選び出す姿勢
- 読書はサプリメントではない
- 子どもに本を読ませることではなく、
本を通して楽しい豊かな時間を過ごしてもらうこと
- 読み聞かせは多くの子どもにとって楽しい思い出

4 小学生への絵本の読み聞かせ

- 長年読まれてきた定番の本を信頼する
- 起承転結のあるまっすぐなストーリー展開
- 定番絵本を丁寧に再読する
- 読み聞かせ用の本棚をつくっていく

さて、この九年間、子どもたちが本を読んで喜んだり、喜ばなかったりするところを見て考えさせられたことは、子どもが読んでもおもしろく、おとなにも—ただし、このおとなは、心を開いた、しなびていないおとなでなければならない—おもしろいのは、児童文学と言っていいらしく、子どもだけがおもしろがって、おとなにはおもしろくないのは、ちょっと警戒してよく—これは、文学でない場合がしばしばあるから—おとなにはおもしろくて、子どもにおもしろくないのは、文学かもしれないが、児童文学ではないだろうということだった。

『石井桃子の言葉』 新潮社

5 小学生へ物語（昔話）の読み聞かせ

- 絵本の物理的な限界
- 言葉による物語体験
- 子どもは昔話を求めている

6 読み聞かせから読書への道筋

- 読書の持つ素朴な喜び、笑い、心の冒険、深い静かな体験こそ大切に
- 粘り強く、誠実なおはなし会を継続する
- 軽いものばかりでなく、重いもの、強い力を備えたものに惹かれている

7 参考資料

『子どもと子どもの本のために』 エーリヒ・ケストナー著 高橋健二訳 岩波書店

『読者のいない世界のための本?』 ヨーンスタイン・ゴルデル著

『こどもとしょかん』 2003年秋号 東京子ども図書館

『絵本の記憶、子どもの気持ち』 山口雅子著 福音館書店

『絵本の庭へ』 東京子ども図書館

『読み聞かせABC』 都立多摩図書館

『えほんのせかいこどものせかい』 松岡享子著 日本ディタースクール出版部

『石井桃子のことば』 中川李枝子ほか著 新潮社

『子どもに物語の読み聞かせを 読み聞かせに向く物語260話』 尾野三千代著

児童図書館研究会

『昔話は残酷か?』 野村滋著 東京子ども図書館

『読む力は生きる力』 脇明子著 岩波書店

『物語が生きる力を育てる』 脇明子著 岩波書店

『自分を育てる読書のために』 脇明子著 岩波書店

『読む力が未来をひらく』 脇明子著 岩波書店

『世界でいちばんやかましい音』 ベンジャミン・エルキン作 太田大八絵 松岡享子訳

杉山きく子

静岡県図書館大会 第2分科会（児童に対するサービス）

絵本リスト

『第九軍団のワシ』 ローズマリ・サトクリフ著 猪熊葉子訳 岩波書店

『やまのたけちゃん』 石井桃子文 深沢紅子絵 岩波書店

『はてしない物語』 ミヒャエル・エンデ作 上田真而子訳 佐藤真理子訳 岩波書店

『ひとまねこざる』 H.A.レイ作 光吉夏弥訳 岩波書店

『ちいさいしょうぼうじどうしゃ』 ロイス・レンスキーぶん・え わたなべしげおやく 福音館書店

『ぐりとぐら』 中川李枝子さく 大村百合子え 福音館書店

『しょうぼうじどうしゃじふた』 渡辺茂男さく 山本忠敬え 福音館書店

『どろんこハリー』 ジーン・ジオンぶん マーガレット・ブロイ・グレアムえ わたなべしげおやく
福音館書店

『くまのコールテンくん』 ドン＝フリーマンさく まつおかきょうこやく 偕成社

『くんちゃんのだいいょこう』 ドロシー・マリノ文絵 岩波書店

『おおきなかぶ』 A.トルストイ再話 内田莉莎子訳 佐藤忠良画 福音館書店

『三びきのやぎのがらがらどん』 マーシャ・ブラウンえ せたていじやく 福音館書店

『ロボのシルベスターとまほうの小石』 ウィリアム・スタイグさく 評論社

『かもさんおとおり』 ロバート・マックロスキーぶんとえ わたなべしげおやく 福音館書店

『ねこのくにのおきやくさま』 シビル・ウエッタシンハさく まつおかきょうこやく 福音館書店

『だいくとおにろく』 松居直再話 赤羽末吉画 福音館書店

『きこりとおおかみ』 やまぐちともこさいわ ほりうちせいいちえ 福音館書店

『ものぐさトミー』 ペーン・デュボア文絵 松岡享子訳 岩波書店

『がちょうのペチューニア』 ロジャー・デュボアザン作 まつおかきょうこ訳 富山房

『ゆうかなアイリーン』 ウィリアム・スタイグ作 らんか社

『よあけ』 ユリー・シュルヴィッツ作画 瀬田貞二訳 福音館書店

『木はいいなあ』 ユードリイ作 シーモント絵 さいおんじさちこやく 偕成社

『ハンダのびっくりプレゼント』 アイリーン・ブラウン作 福本友美子訳 光村教育図書

『おはなしのろうそく』 東京子ども図書館

『子どもに語る中国の昔話』 松瀬七織訳 湯沢朱実再話 こぐま社

『ひとまねこざるときいろいぼうし』 H.A.レイ作 光吉夏弥訳 岩波書店

『しずかなおはなし』 サムイル・マルシャークぶん ウラジミル・レーベデフえ うちだりさこやく
福音館書店

『王さまと九人のきょうだい』 君島久子訳 赤羽末吉絵 岩波書店

『ウルスリのすず』 ゼリーナ・ヘンツ文 アロイス・カリジェ絵 大塚勇三訳 岩波書店

『サリーのこけもつみ』 ロバート・マックロスキー文絵 石井桃子訳 岩波書店

『小学校での読み聞かせガイドブック 改訂版』 湯沢朱実ほか編著 プランニング遊